



加賀森林計画区における 次期計画についての検討方向



六万山国有林（手前右）と残雪の白山（白山市）

林野庁 近畿中国森林管理局
石川森林管理署

次期計画の検討方向

次期計画の検討における重要事項①

1 公益重視の管理経営

- 公益的機能を重視した管理経営
- 治山施設の設置や保安林の適切な管理
- 水源涵養機能、生活環境の維持・向上
- 森林病虫害による被害への対策
- 「保護林」「緑の回廊」の適切な保全・保護管理

3

次期計画の検討における重要事項②

2 林業の成長産業化への貢献

- 資源の循環利用と健全な森林を育てる森林整備
- 低コスト造林など新たな技術の普及

4

次期計画の検討における重要事項③

3 「国民の森林^{もり}」としての管理経営

○優れた森林景観や保健休養に適した森林の利用を推進

○企業などの社会貢献活動へのフィールド提供、森林環境教育への支援

現行計画は別添を参照

加賀森林計画区の概況

【加賀森林計画区位置図】



- 加賀森林計画区は、石川県南部に位置し、国有林の多くは県境付近の高標高地に所在。
- 森林の総面積142千haのうち国有林野は34千ha（24%）。
- 主要河川の源流にあり、原始的な森林も多く、生物多様性保全や山地災害防止などの公益的機能の発揮に重要な役割。

（該当市）
金沢市、小松市、加賀市、白山市

森林資源の状況

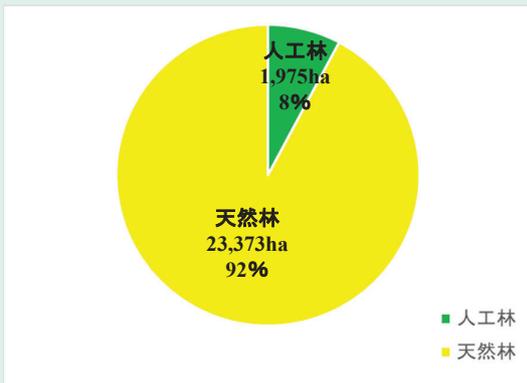
○面積割合は人工林が8%、天然林が92%

○人工林の蓄積割合は、スギ76%、その他広葉樹が15%

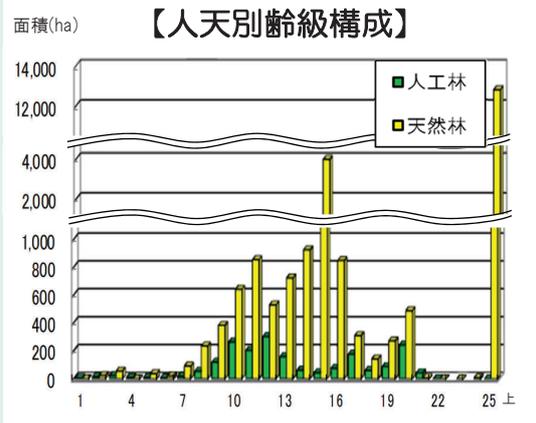
○人工林の齢級は9齢級から13齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

【人工林・天然林の面積割合】



【人天別齢級構成】



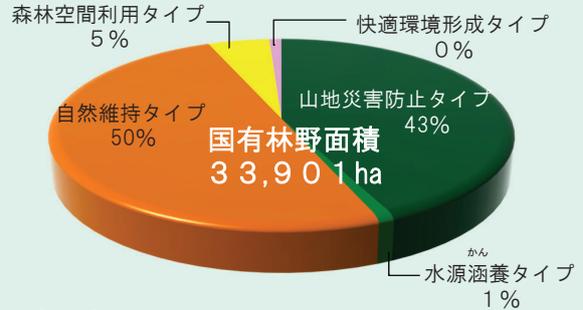
機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止タイプ	14,578	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持タイプ	17,073	原始的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用タイプ	1,774	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成タイプ	26	騒音の防備や大気浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養タイプ	449	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林

注：四捨五入により、内訳と合計が一致しない。

【機能類型別割合】



加賀森林計画区では、「自然維持タイプ」が50%と半数を占めており、原始的な森林や貴重な動植物が生息するなど特別な保護管理が必要な森林となっています。

8

主要事業（平成29年度から令和3年度の計画）

・伐採量

現行計画量 (m3)	
主伐	間伐
—	18,376

・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
4	—

・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
26	49	—

・林道

現行計画量		
	路線数 (箇所)	延長 (m)
開設	—	—
改良	1	20



花立国有林（小松市）

健全な森林の育成、生物多様性の保全、二酸化炭素の森林吸収源対策の目標達成のため、間伐を積極的に進めています。

・治山

現行計画量	
保全施設 (箇所)	12
保安林整備 (ha)	47

9

公益重視の管理経営

基本方針① 公益重視の管理経営

国土の保全

○治山事業

治山ダム等の設置や保安林の適切な管理を通じて山地に起因する災害から国民の生命、財産を守ります。また、水源涵養機能や、生活環境の維持向上を図ります。

山腹工



工事前（35年前）



工事後

民有林直轄治山事業（白山市）

森林の保全管理

○森林ボランティアや自治体と連携し、森林巡視・山火事の防止・不法投棄への対応などの保全管理を実施。

地域住民参加のクリーン活動



安宅林国有林（小松市）

森林病害虫による森林被害への対応

○森林病害虫による森林被害への対策

周辺民有林と連携し、薬剤の地上散布、伐倒駆除により被害拡大を防止。

松くい虫防除事業 地上散布



加賀海岸国有林（加賀市）

原生的な天然林等の保護

○保護林

5箇所を設定しており、モニタリング調査を定期的を実施。

種類	名称	特徴等	面積(ha)
森林生態系保護地域	白山森林生態系保護地域	白山周辺に存在する国有林の中で、この地域を代表する原生的な天然林の保存	7,049.24
生物群集保護林	犀川源流生物群集保護林	自然環境がよく保存された森林における、生物の遺伝資源の保存	1,793.53
	千丈平生物群集保護林	高標高地のブナを主体とした大群落	856.88
希少個体群保護林	釈迦ヶ岳ブナ・ミズナラ遺伝資源希少個体群保護林	ブナ・ミズナラの天然分布を保護し、林分の遺伝資源の保存	29.81
	嵐谷天然スギ希少個体群保護林	天然スギ（白山スギ）の保護	10.58



原生的な天然林等の保護

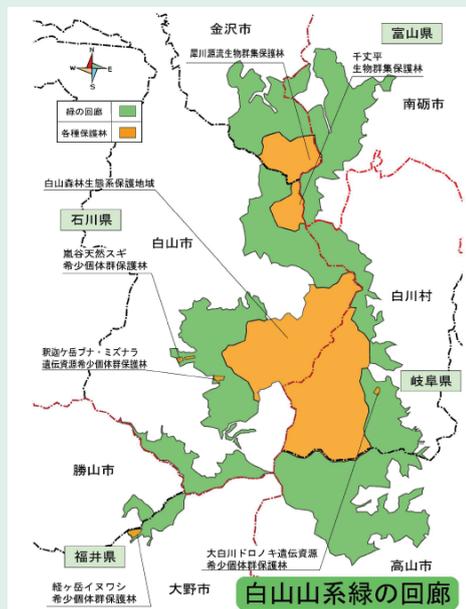
○緑の回廊

保護林を中心とした、野生動植物の生息・生育地の広域的なつながりを確保することにより森林生態系をより効果的に保全。



白山山系(白山市)

名称	延長	面積	備考
白山山系緑の回廊	63km	18,012ha	白山山系緑の回廊全体 70km 約42,900ha



外来植物除去活動

白山固有の生態系を維持・保全するため、関係機関と連携し、白山国立公園内に侵入している外来植物を除去。



白山白川郷ホワイトロード沿い（白山市）



湯の谷資材運搬路沿い（白山市）

原生的な天然林等の保護

○巨樹・巨木の保存

「森の巨人たち100選」に選ばれた「コモチカツラ」の保護。



- コモチカツラ
- ・樹種 カツラ
- ・幹周 1,560cm
- ・樹高 43m
- ・樹齢 1,000年(推定)



林業成長産業化への貢献

基本方針② 林業の成長産業化への貢献

林産物(木材)の供給

～ 間伐の低コスト化、小径木の利用拡大 ～

○路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進。

○小径木などの未利用間伐材について、木質バイオマスへの利用を拡大。

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐の導入



基本方針② 林業の成長産業化への貢献

低コスト化に向けた取り組み

～ 一貫作業システム ～

- 植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能。
- 木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減。



※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業

20

基本方針② 林業の成長産業化への貢献

低コスト化に向けた取り組み

～ コンテナ苗 ～

- 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産。
- 根鉢がコンパクトで小さな植穴で植栽が可能。

出典：『コンテナ苗基礎知識』（林野庁）

リブやスリット等により根巻きが防止され、十分に発達した根系になっている。

コンテナ底面に穴が開いており、コンテナ下部に到達した根が空気に触れると自然に根の成長が止まること

基本方針② 林業の成長産業化への貢献

林産物(木材)の供給

～ 間伐材の有効利用 ～

本計画区では、主に60年生以下の林分で間伐を行っており、間引いた樹木を有効利用する観点から、間引きを直線的に行う列状間伐と高性能林業機械を組合せて間伐材の効率的な搬出を実施。



釈迦ヶ岳国有林（白山市）

22

基本方針② 林業の成長産業化への貢献

林業技術の開発及び普及

～ 新たな技術普及に向けた取組 ～

低コストで効率的な木材生産や造林を普及させるため、関係行政機関や林業事業者などを対象とした現地検討会を開催。

石川県の協力により、県の推進するドローンやICTハーベスタを活用した「スマート林業」の状況を視察。

低コスト林業現地検討会



開催の様子（加賀市）

23

「国民の森林」^{もり}としての管理経営

基本方針③ 「国民の森林」^{もり}としての管理経営

国有林野の活用

～ 保健・文化・教育的利用のための取組 ～

○レクリエーションの森
5箇所1,277haを設定し、国民の保健・文化・教育に活用。



加賀海岸自然休養林



蛇谷風景林

種類	名称	概要	面積(ha)
自然休養林	加賀海岸(風致探勝ゾーン)	クロマツを主体とした優れた景観の中、整備された歩道等の利用者が多い	429.77
自然観察教育林	獅子吼手取	ミスバショウの群落を中心に自然観察の場として利用	30.65
風景林	蛇谷	白山白川郷ホワイトロードの近景として、優れた景観	605.01
	六万山	白山の登山口の市ノ瀬周辺にあって、優れた景観	141.86
	安宅林	名勝「安宅の関」に隣接するとともに、市民の散策の場としても多くの人に親しまれている	69.21



国有林野の活用

～ 保健・文化・教育的利用のための取組 ～

安宅林風景林などは、「日本美しい森 おすすめ国有林」に選定されており、地域の関係者と協働・連携を図りつつ、森林景観を活かした地域の観光資源の創出に寄与するよう、情報発信や環境整備に取り組む。

※ 日本美しい森 おすすめ国有林とは
優れた自然環境を有するなど、観光資源としての潜在的魅力が認識されるレクリエーションの森として林野庁長官が選定。



ホームページを活用した情報発信



パンフレット作製

国民参加による森林づくり

○地域住民等による森林整備

森林ボランティア活動や森林環境教育のフィールドとして国有林を提供。



名称	面積(ha)	備考
住吉の森 (ふれあいの森)	19.35	安宅林国有林 (小松市)
安宅勧進帳の森 (遊々の森)	19.35	〃

国有林で作成する森林計画

